潤いある生活を

公民館の「婦人講座」受講生募集中

▽**対象**…村内に住む一般婦人か村内に勤務している婦人。

▽**申込み**…今月十九日まで、公民館（☎82四四四四）で受け付けています。料理教室（昼・夜のコースとも）は定員になり次第締め切ります。

	婦人学級	料理教室（昼のコース）	料理教室（夜のコース）
定員	…	30名	30名
受講回数	5月から年6回	5月14日(水)～毎月第2水曜 ―― 8回	5月20日(火)～毎月第3火曜 ―― 8回
時間	平日の午前中	午前10：00～12：30	午前7：00～9：30
内容	みなさんの企画で婦人として必要な知識と技術の習得	身近な材料を使って、バランスのとれた栄養・調理の技術を学ぶ	
携行品	筆記用具など	エプロン、筆記用具など	
費用	無料	1回 700円	1回 700円
申込み期限	4月19日(土)	4月19日(土)	4月19日(土)

新生活運動――

冠婚葬祭の簡素化を

年々華美になる冠婚葬祭ですが、〝節度ある範囲で基準を定め、みんなで守ろう〟と公民館、農協婦人部、婦人会などで構成している岩室村新生活運動推進協議会では、このほど「新生活運動申し合わせ事項」を決め、各ご家庭にチラシを配布しました。〝温かい心の交流で支え合う社会〟を基本にしたこの運動の成果が上がるよう、みなさんのご協力をお願いします。

春の火災予防運動

4月1日(火)～7日(月)

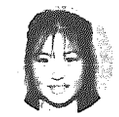
きょうから7日までの一週間、県下一斉に「春の火災予防運動」が展開されます。そこで、村内3小学校の児童から「わが家の防火」についての作文を寄せていただきましたので、ご紹介しましょう。

怖いのは「消したつもり」と「消えたはず」

岩室小学校 菅井祥子さん（四年生）

家の台所には、「こわいのは消したつもりと消えたはず」という紙がはってあります。お母さんは「消したつもりでも消えていない時もあるからね。気をつけなくちゃ」とよく言います。

ずっと前、家の近くの小屋が焼けたことがあるそうです。私はその話を聞いて、ぞっとしました。ニュースでも火事のことが時々出るけど、ちょっとした不注意で火事になっています。そんなことがないように、火を使った後は、必ず元せんに二回さわって確かめています。



和納小学校 小林美春さん（五年生）

わたしの家では、火災予防についてべつに大きなことはしていません。でも、毎夜おばあちゃんが、おふろのガスの元せんが切ってあるかなど点検してくれます。

わたしは、予防のことについてはぜんぜん仕事はありません。だから、ガスの元せんのつけ方、消し方を教えてもらい、たまには手伝いをしたいと思います。

これからは、いままでより、もっと火事のことに気を付け、家の人と話し合いたいと思います。

間瀬小学校 松本愛さん（六年生）

きのうも無残な焼けあとから焼死体が運び出されるショッキングな様子がテレビに出ていました。最近、特に火災のニュースが目にうつります。私の回りにも、いつこんなことが起こるかわからないのです。火事を出さないためには、なんといっても一人一人が注意すること以外にありません。これからは、今まで以上に家の人と「防火」について真剣に話し合っていこうと思います。そして、恐ろしい火事を決して出さないよう、みんなで努力しようと思います。

言葉の履歴書

月下氷人

多くの新しいカップルが生まれる春の結婚シーズン。新郎新婦の仲をとりもつ人「仲人」は「なかびと」が「なこうど」に変化した言葉です。

仲人には「月下氷人」という古称がありますが、これは中国の縁結びの神「月下老」と「氷上人」を、一つに結びつけたものでした。

「氷上人」は晋の令狐策という人が見た夢にまつわる故事。氷の上で氷下の人と話をした夢を見たのですが、占いの名人策紘は「陽を意味する氷上と、陰を意味する氷下の結びつきは、男女の仲介者になる予兆」と判断しました。

また「月下老」は、唐の韋固という青年が旅行中に出会った不思議な老人のこと。月の光で書物を読んでいたその老人が持っていた袋には、結婚する男女の足をつなぐ赤い縄が入っていて、韋固に将来妻となるはずの女性の名前を教えてくれたのです。

結婚する二人はもともと赤い糸で結ばれていたのだという俗信は、この話からきたのかもしれません。

今月の納税

固定資産税　第1期

（納期限は4月30日です。お忘れなく）

村と東北電力などで 非常災害訓練

〔4月7日午前10時〕

今月7日(月)午前10時から3時間にわたって、岩室温泉街を中心に非常災害演習が行われます。これは、雷による停電事故を想定した非常災害訓練で、停電事故に対する理解と意識を高めることを目的に実施されます。

おめでた おくやみ

61年3月20日まで

おめでた

（敬称略）

氏名	前住所	新住所
後藤　文直	岩室	岩室
(宮島)美重	和1	
田中　茂敏	石瀬	石瀬
(永井)由美子	巻町	
酒井　秀雄	和12	和12
(近藤)匡世	吉田町	
田中　戸代史	石瀬	石瀬
(羽田)好美	新津市	
(古寺)芳道	西川町	栄
本間　ひとみ	栄	
相澤　一征	和2	和2
(佐藤)ひとみ	長岡市	

小林　まみ	2.28	康二	和	11
岡部　晃大	3.6	一樹	岩	室
佐藤　美奈子	3.12	栄一	和	8

おくやみ

氏名	年齢	死亡月日	世帯主	住所
竹内重太郎	(78)	2.20	一男	西船越
石黒　松二	(65)	2.24	初子	間3
山田　乙松	(79)	3.2	キセ	間6
金子　四郎	(69)	3.4	義明	和3
坂爪　信一	(73)	3.8	惣一郎	油島
藤田　マキ	(83)	3.9	稔	西長島
富澤　サカ	(81)	3.11	幸一郎	新谷
小林　キソ	(68)	3.12	春治	和3
田中　トメ	(83)	3.13	芳男	和5
大岩　フジ	(90)	3.14	清一	和1
吹井　豊作	(88)	3.18	輝雄	栄

うぶごえ

氏名	誕生月日	保護者	住所
山田　貴洋	2.13	正	油島
竹内　拓	2.18	正行	西中

暮らしの健康

新・シリーズ(1)

文責／保健婦

健康づくり

〝病気〟は気づかないうちにはじまっている……

健康と異常の感じ方

ある人は、体がだるくてもこの程度は「健康」だと思い、ある人は少し体がだるいと、「異常」だと感じるように、〈健康〉とか〈異常〉というものは、それぞれ個人差があります。

とくに、成人病のように徐々に病気が進むものは、長いあいだ病気の進行に気づかないことが多いものです。

病気がある程度進行すると、いろいろな自覚症状があらわれ、体の具合が〝変だ〟ということに気づきます。大部分の人が、自覚症状があって初めて病院などへ行くのですが、「健康」だと感じている時から定期健康検診を受け、体の異常や病気の早期発見に努めることが、健康を守るための第一歩です。

定期的検診が大切なわけ

人の体は、日々刻々と変化しているものです。去年は「異常なし」であったからといって、今年もそうかというと、必ずしも「異常なし」とは限りません。

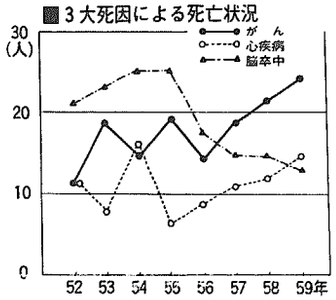
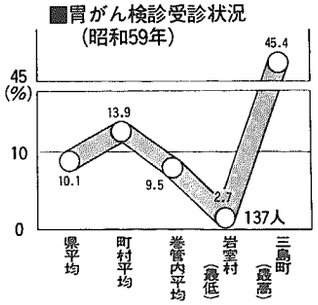
また、だれもが年をとるにしたがって、老化し、それとともに体の異常状態も増してきます。とくに、成人病といわれる高血圧や動脈硬化、心臓病、糖尿病あるいは、がんなどは、三十歳後半から発生率が急激に増加しています。定期的に検査を受けることで、自分の体の現状を確認することが、異常をできるだけ早めに発見するカギといえます。

村では、地区の保健委員と協力して、各世帯に配布した世帯調査票により、みなさんがどこで健康確認を行っているかを調査しています。

この調査結果をもとに、六月に実施する総合検診、七月に行う胃がん検診、八月の子宮がん検診の準備を進めていく計画です。

自分の健康を守るため、年に一度は健康確認を行うか、家族みんなで、〈健康〉について話し合ってみてはいかがでしょうか。健康は一番大切なあなたの財産です。

■3大死因による死亡状況



■胃がん検診受診状況（昭和59年）